

第3回リニアまちづくり構想市民委員会 会議録（要約）

平成24年12月3日（月）
午後2時から午後4時
恵那市防災センター研修室

【会議次第】

市長あいさつ
委員長あいさつ

[協議・報告事項]

1. リニア中央新幹線整備関連の最近の動きについて
 2. グループ会議の中間報告
 3. その他
-

事務局 皆さんこんにちは。第3回リニアまちづくり構想市民委員会にお集まり
いただいてありがとうございます。定刻となったので会議を始めたいと思
う。はじめに市長からあいさつをお願いする。

市長あいさつ 皆さんこんにちは。リニアまちづくり構想市民委員会にご出席いただき
ありがとうございます。本日は竹内先生、磯部先生にご出席いただき、ま
た、オブザーバーとして恵那事務所の所長様、新しくできたリニア推進事
務所の所長様、中津川市の企画部長様にもご出席いただいている。この後
岐阜で会議がありまして、途中で抜けさせていただく。

リニアのまちづくりに関しては市民の皆様も関心が高く、市長選挙、市
議会議員選挙においてもその話が多くあった。15年先にリニアが来る
ということだけでなく、今から取り組んでいく必要がある。

中学生と語る会でリニアを生かしたまちづくりについて意見を頂いた。
これを、この市民委員会に届けるということになっている。リニアが来る
ことによって人が多く集まり恵那のまちが汚くなってしまわないかとの
心配や、ストロー現象で人口が減ってしまわないかとの心配があった。明
知鉄道をリニアの駅につなげるという意見もあった。

リニアを生かしたまちづくりは恵那市全体でどう考えるかという輪を
広げていく必要がある。地域自治区の協議会へ投げかけ様々な提案をもら
いたい。

事務局 続いて、委員長にごあいさついただく。

磯部委員長 委員会が立ち上がり約半年がたった。

	<p>都市化、近代化の水準をあげようとするが、それだけではなく持続性も大事だということがわかってきた。地域の魅力は何なのかを考えなければと思う。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それではレジュメに基づいて協議報告に入る。ここからは委員長の進行でお願いします。</p>
司会(委員長)	<p>リニア中央新幹線整備関連の最近の動きについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>整備関連でJR東海では現在、環境影響調査を実施中ということで、特に大きな動きはない。</p> <p>恵那市関連の部分で一つ目は、市民出前講座「リニア中央新幹線とまちづくり」というテーマで、リニア中央新幹線の基礎とこの委員会を含めたまちづくりについての講座を4回開催した。延べ98人の方の参加があった。</p> <p>次に、リニアまちづくり明知鉄道沿線住民委員会というものが10月24日に設立された。本日は明知鉄道の丸山専務が委員として出席されているので、ご説明いただく。</p>
委員	<p>各地域の明知鉄道協力会の会長と相談し、リニアのチャンスを生かすために35名で立ち上げた。</p> <p>鉄道沿線の皆様の力を借りて、沿線に花を植えるなど景観整備をしたい。また、恵那市には2台のSLがあり、これを活用してSL復活をしていきたい。</p> <p>沿線のまちづくりをPRし、交流人口の増加、さらには定住人口も増やしていきたい。</p>
事務局	<p>続いてリニア推進事務所の新設ということで、岐阜県で組織が作られた。資料の名簿の中のオブザーバーの部分で、前回まで県の公共交通課の課長にお越しいただいていたが、今回から現地の事務局ができたということでリニア推進事務所の所長にオブザーバーということで加わっていただくのでよろしくをお願いします。</p> <p>本日、リニア推進事務所から出席いただいているので、ひとこと頂きたい。</p>
リニア推進事務所	<p>ご紹介いただいたリニア推進事務所の岩田です。本日所長が公務により出席できないので代わりにごあいさつさせていただきます。</p> <p>県都市建築部の現地機関として設置。リニアの建設推進に向け、沿線自治体と連携しながらリニアの整備とリニアを活用した地域づくりの推進を図る。JR東海との調整も行う。スタッフは3名の専任職員。</p>
事務局	<p>リニア中央新幹線整備関連の最近の動きについては以上。</p>
司会(委員長)	<p>3つのお話があったが、何かご意見があればお願いします。</p> <p>ないようなら次の議題に進みたい。グループ会議の中間報告だ。前回の会議で決めたとおり、グループにわけて検討を進めていただいているとこ</p>

	<p>るので、グループから報告をお願いする。1グループ当り30分くらいでまとめていきたい。最初は産業振興グループからお願いする。</p>
委員 (産業振興グループ)	<p>会議は2回行った。1回目では意見を出し合い、2回目ではその意見を分類して、掘下げていった。</p> <p>意見は企業誘致、資源の再発見、ブランド力の強化、農林業の活性化、その他に分類。</p> <p>企業誘致では東京からの時間距離、自然災害の少なさ、日本の真ん中をPRするといった意見が出た。また、リニアの特殊技術などと地元企業との技術関連の交流を深めたいとの意見が出た。</p> <p>資源の再発見では、田舎らしく有害鳥獣を逆手にとって何かできるのでは。この活用については「食」がいいという話が出た。都市部からの時間距離を生かして、東京や名古屋のベッドタウンとしての発展が望める。</p> <p>ブランド力の強化では、恵那にしかないものを磨き上げる必要がある。</p> <p>農業の活性化は農業経営の難しさなどがあるものの、農作物の価値を高める必要がある。</p> <p>商業の活性化では商店街の後継者不足への不安があるとのこと。これは地域として魅力を高める必要があるとの意見が出た。</p> <p>その他、恵那の米のおいしさや木材を使用して林業振興につなげること。恵那峡サービスエリアにスマートインターを設置し、ハイウェイオアシスを併設するといった意見が出た。</p> <p>今後これらから導かれるキーワードを議題にさらに議論を深める。</p>
司会(委員長)	<p>産業振興グループからの報告だ。同じグループから付け加えたいとか、他のグループからご意見などあるか。</p> <p>なければ竹内先生にアドバイスををお願いする。</p>
竹内アドバイザー	<p>駅ができることだけでなく、総合車両所の設置に伴い新しい産業の立地が見込まれることにこだわらず、農林業を中心にそれを産業化していき、都市部の人を受け入れる態勢の中でどう活性化していくかという考えは大事。</p> <p>資料にクラインガルテンという言葉があるが、これは先進事例もあるのでよく研究し構想をはぐくんでいくといい。</p> <p>観光産業がこれからの地場産業として重要。観光・まちづくりグループと連携をとって話を進めるといい。</p> <p>林業振興は大変で、恵那市内だけは収まらないと思う。おおいにディスカッションしていただきたい。</p>
司会(委員長)	<p>アドバイザーの意見も受けて、他の方ご意見はいかがか。</p> <p>産業は幅広くあり、製造業、農林業もある。観光もひとつの産業といえる。</p> <p>日本の真ん中という話があったが、データ処理産業ではデータを災害などに遭わないように離れた所にデータセンターを置いて、通信がうまくい</p>

司会(委員長) けば、日本のみでなく世界中に置きたいということで競争だそうだ。
どんな立地条件かということと交通の便がよく災害が無い、エネルギーも得られるということのようだ。
ハイウェイオアシスや道の駅など道路付帯施設も通過するためのものでなくいろんな活用ができるのではということ。刈谷では、高速道路、一般路どちら側からも行け、駐車場も両側にある。色々な方が利用できる施設になる。といった参考事例もある。
次に基盤整備グループから発表をお願いする。

委員
(基盤整備グループ) 会議は2回行った。リニアに対する期待感はあるが、関係する地域の懸念とか不安もある。実験線の先進事例も研究し、住民へ周知を図り、その上で将来のリニアを活用したまちづくりといった課題に入っていくべきだという考えのもとに話を進めた。
広域アクセスの濃飛横断自動車道は中津川インターと恵那インターの間に接続するというイメージだ。その先の三河東美濃連絡道路は、現時点では具体化されていないが新城市へ向けている。また、国道418号と県道豊田明智線の改良によって名古屋の東側にある人口集積地とのアクセスを考えることができる。
リニア駅と総合車両所へのアクセスについては恵那インターから現道を使い、二軒屋方面へ向う。その先は中津川市だが、リニア駅へ向けたアクセスが必要ではないかとの考え方。もちろん中津川市との調整が必要。
産業振興グループの中でも話のあった恵那峡サービスエリアにスマートインターを設置することを検討しながら、それにあわせ現道の改良をしていく必要がある。
国道19号からリニア駅へ向う南側のアクセスと、恵那インターから北側を通過するアクセスで話を進めていったらどうか。
県道苗木恵那線は中山道であり歴史の道。古道として保存したい。この活用は地域のグレードアップを図り、リニアによるお客さんを迎えたい。
総合車両所で働く人たちの居住地域は中津川市にもあるが、恵那市内でも活用できる地域があるのではという意見があった。
リニア駅周辺の大井、長島が話題の中心になっていたが、恵那市全体として考えることが必要であり、地域協議会としても勉強をすすめる予定。
恵那高校など教育が充実していることも含め、国際的な学習施設の誘致も考えられるとの話もあった。
課題が多くありまだ十分意見が出尽くしていない。この発表から皆さんにご意見を頂き今後検討を進めたい。

司会(委員長) 今の発表に対して何かご意見等はあるか。
ないようであれば竹内先生にアドバイスををお願いする。

竹内アドバイザー 基盤整備はある種の夢がないといけませんが、大きく広げてしまうと相手

竹内アドバイザー にされない。とはいいいながら当面を取り繕うことだけを考えていては駄目。バランスが難しい。

私が考えていることとそんなに違いがない。特に言うことはないが、恵那インターからつなぐ道をしっかりと造っていくことが大切。

この道はインターの改良もしなければならぬ程大掛かりな工事になる。中津川市と連携をとって、県道として改良していただけるといい。

中山道は由緒ある道なので保存していった方がいい。観光まちづくりの上でも大事。ここは県道から市道にしてもらって市で面倒をみていってもいいのじゃないかとも思う。

夢のような話かもしれないが、市長と中学生と語る会の中で中学生が語っていた明知鉄道とリニア駅を結びつけるという話は面白い。復活させられるかもしれないSLを持っているので、これは実行可能性のある話。私が思っているのは、明知鉄道の線路をリニア駅まで新設するという事。在来線を活性化するための国庫補助制度という動きもある。夢ではあるが必ずしも可能性が無い訳でもない。検討を進めたらどうか。

リニア駅と恵南のまちを結ぶ。恵南は時代背景に活気があるまちなので面白い。リニア駅の前にSLが止まっているという状態があれば降りる人もいるかもしれない。

司会(委員長) 基盤といってもいろんな基盤があって、交通だけでなく生活に必要な基盤もある。まちの中の道の話が気になるところだ。幹線道路は通過交通を主にしているので国道19号を使う。市民の方々は生活道路として市街地の道を使うといった時にどの道を使うかということになる。

中山道は車交通を求めていくか、そうでない交通を求めていくかということになる。その代替は必要か、ということになってくる。駐車場所も必要になる。駐車場を単独で作るか、商店街で共同の駐車場を整備するかという検討も必要だ。いろいろと検討をしていただきたい。

では、次に観光まちづくりグループに発表をお願いする。

委員 会議は1回のみだが、いろいろな意見が出た。

(観光・まちづくりグループ) テーマは観光交流人口の拡大、二地域居住者・移住者の受け入れ、恵那らしい景観の維持・形成。これを定住・移住、観光、まちづくりという3つのキーワードで話を進めた。

まちづくりでは、活動は各地域で行われているが、一部の人たちがやっていて、だれかがやってくれるのではという考えがあるとのこと。活動の情報共有が必要である。

定住・移住では恵那市では土地が動かないので移住事案も少ないのではという話があった。宅地開発ができるのなら、菜園付きなど都市部と違うものもいいとの意見。また、市内でも高校に通う交通が不便で街中に転居する事例もあるとのこと。

観光は多様化しているので「こだわり」を重視する必要があるとの

委員 (観光・まちづくりグループ)	<p>こと。</p> <p>地域間の競争が必要。リニアに関しては、隣の飯田。飯田は体験学習を中心に様々な取り組みを行っている。恵那、中津川にとって一番の強敵。自然豊かというのは飯田も同じ。</p> <p>あえていうなら恵那には地方鉄道がある。これを磨いていくといい。</p> <p>話は外れるが、現在、恵那市には2台のSLがある。明智小学校にはC12の244。昭和15年製。中央図書館にはC12の74。昭和9年製。専門家に見てもらったところ、74型の方が状態がいいとのこと。今後、詳細な調査などを行っていきたい。</p>
司会(委員長)	<p>ありがとうございました。移住では大きな移住もあるが小さな移住もあるということもわかった。</p>
竹内アドバイザー	<p>人々の生活にかかるまちづくりという面がこのグループだけでなく全体的に弱いかなと思う。</p> <p>観光というのはよそから来る観光客のためだけのまちづくりでなく、市民の暮らしの空間を整備していくべきだ。</p> <p>岐阜大学時代に地域の観光による地域づくり、地場産業としての観光の問題を研究した。そこで造り出した言葉がスローツーリズム。</p> <p>スローツーリズムとは、スローフードから来ている。スローフードとはどこへ行っても同じような食材で、味についても個性があるわけでもないファストフードではないもの。地産地消の産業となり手作りで時間がかかるのがスローフード。そういう精神で生活全般をしていこうというのがスローライフ。スローライフと結びついたのがスローツーリズム。</p> <p>これからの旅行は団体ではなく、個人で参加、体験、滞在を楽しむことが主流になる。受け入れ側としてはこれらを受け入れる暮らしづくりが大切だ。</p> <p>スローツーリズムでは歴史文化遺産を見るもの。自然を楽しむグリーンツーリズム、農業を楽しむアグリツーリズムがある。</p>
司会(委員長)	<p>この間、箱根にある「オーベルジュオー・ミラドー」という有名なレストランだが、東京でやらずに箱根でやるのはなぜかとオーナーシェフが言っていたのだが、箱根でしか取れない食材がある。東京まで持って行って調理していたら遅い。箱根で調理して、東京の人に来てもらう。という話をされていた。そこにも宿泊施設があるが、食べるために宿泊するということらしい。旅行のための食事ではなく、食事を楽しむということだ。</p> <p>恵那にあてはめて考えると、栗きんとんがある。東京から食べに来てもらう。というのもありだと思う。名古屋でも簡単に手に入らない。</p> <p>地元では当たり前なことでも少し離れた所から見ると当たり前ではなく、魅力になる。風土に合ったものがないということなので、これをPRしていくといいと感じている。</p> <p>全体でのご意見あればお願いします。</p>

委員	地域で様々なイベントに参加してもらおう「えなか」というイベントがある。多くの参加者がある。地域に隠れたものも多くある。例えば明智の土びな。笠置山もクライミングというスポーツで、この(岩登りの)業界では有名。中山道のボランティアガイド、大正村や岩村のガイドなどイベントなどには地域の人が参加していただいている。
委員	最近では恵那市内でも多くの外国人観光客がいる。 地域の「らしさ」は具体的な言葉で伝えないといけないと思う。ターゲットはどういう人で、何を目的としていくのかを知ってもらうことが大切。対策には長い時間がかかるので、早いうちにやっつけていかないとけない。
リニア推進事務所	岐阜県としては広域アクセスについてしっかりとやっていきたい。南北軸としての濃飛横断自動車道、東西としては国道19号、中央道はこの地域になくはない幹線道路。もちろん中央本線もある。
委員	委員の任期は2年間でいいか。また、委員会の到達地点を明示して欲しい。
司会(委員長)	はじめは問題がつかみきれないから、整理する。ということから入っていった。最終的にはどの課題を重点的にやっていくのか、やるというのはだれがやるのかを整理しようということだ。今日はまだそこはできていない。各種の問題の大きさや深さなどを掘り出したという段階だ。 次にはどの問題に対して行政がやるのか市民側がやるのか、行政にも国、県、市とある。もちろんいつまでにやるのかということも問題によっては変わってくるが、それは次のステップになると考えている。
事務局	事務局からも説明する。全体のロードマップが見えにくいかもしれないので、この点については委員長と相談して、時間の会議で資料として用意する。 この委員会は計画を作るところだ。これを総合計画やいろいろな部署と協力しながら進めていく計画を作ろうということだ。
司会(委員長)	その他何かあるか。
事務局	その他1点目、前回の現地研修のまとめを報告する。 佐久平駅と山梨実験線の現場の2箇所に行ってきた。内容は資料のとおりだ。 2点目、次回の会議日程だが、25年2月21日木曜日午後2時という案があるが、よろしいか。
司会(委員長)	ご意見なければ案のとおり決定したいと思う。 次回会議までに各グループ会議をよろしく願います。司会を降りさせていただく。
事務局	ありがとうございました。閉会のあいさつを山本副委員長願います。
副委員長あいさつ	お疲れ様でした。今日はあまり議論がなかったが、ここにいたるまでにいろんな議論をしていただいたと思う。また時間を取っていただいて何回

かお集まりいただいたうえで、次回会議になると思う。大変ご苦労様でした。
